3月定例教育委員会会議録

公開案件

開催日時	令和7年3月18日（火） 午前10時から	
開催場所	奈良市役所 中央棟地下1階 B1会議室	
出席者	委員	北谷教育長、柳澤委員、梅田委員、川村委員 【計4人出席】
	事務局	小林課長補佐、荒谷
	理事者	【教育委員会】 垣見教育部長、若林教育部次長、土田教育政策課長、徳岡教育総務課長、松浦文化財課長、牧野学校教育課長 【子ども未来部】 保田子ども未来部次長、岡田子ども政策課長補佐
開催形態	公開（傍聴者なし）	
議題	<p>1 教育長報告</p> <p>教育長報告（1） 財産の取得について</p> <p>教育長報告（2） 奈良市学校図書館ガイドラインの改訂について</p> <p>教育長報告（3） 市立幼稚園の再編方針について 非公開</p> <p>2 議案</p> <p>議案第40号 奈良市指定文化財の指定について</p> <p>議案第41号 奈良市指定文化財の指定解除について</p>	
決定取り纏め事項	<p>1 教育長報告</p> <p>教育長報告（1） 財産の取得については、了承した。</p> <p>教育長報告（2） 奈良市学校図書館ガイドラインの改訂については、了承した。</p> <p>教育長報告（3） 市立幼稚園の再編方針については、了承した。</p> <p>2 議案</p> <p>議案第40号 奈良市指定文化財の指定については、原案どおり可決した。</p> <p>議案第41号 奈良市指定文化財の指定解除については、原案どおり可決した。</p>	
担当課	教育政策課	
議事の内容		
教 育 長	皆さんおはようございます。3月定例教育委員会を始めさせていただ	

	きます。
教 育 部 長	教育長。本日の案件の理事者である子ども政策課長が、公務のため欠席しております。そのため、代理として子ども政策課長補佐である岡田を出席させたいと思いますが、よろしいでしょうか。
教 育 長	分かりました。それでは、岡田課長補佐は入室してください。まず、事務局より資料の説明をお願いします。
事 務 局	本日の資料につきましては、既にお配りしているとおりでございます。
教 育 長	本日の委員会は、新井委員を除き、私を含め4名の委員が出席しており、委員の過半数が出席しているため、委員会は成立いたします。ただいまから3月定例教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名委員は、私と川村委員でお願いをいたします。 次に、会議録の確認を行います。3月臨時教育委員会の会議録の署名委員は梅田委員です。梅田委員、いかがでしょうか。
梅 田 委 員	結構です。
教 育 長	ありがとうございます。 本日の案件は教育長報告3件、議案2件でございます。なお、先月使用承認した後援名義が11件ございますので、ご報告申し上げます。 本日の案件のうち、教育長報告（3）は、奈良市情報公開条例第7条第5号に当たる事項が含まれているため、非公開として審議すべきであると思いますが、いかがでしょうか。
各 委 員	異議なし。
教 育 長	異議なしと認めます。よって教育長報告（3）は、非公開とすることに決定をいたしました。 それでは公開の案件から始めます。教育長報告（1）「財産の取得について」、教育総務課長より説明願います。
教育総務課長	中学校の教科用図書につきましては、4年に1度の改訂により採択替えが行われます。子どもたちの教科書は、法に基づき国から無償供与されますが、教師が使用する教科書等は、市の負担となります。令和7年度から令和10年度の4年間使用する、奈良市立中学校教科用図書として採択された教科書及び指導書のうち、教師が使用する学校必要分を購入するための経費といたしまして7,200万円を、12月定例議会におきま

して債務負担行為設定を行っております。

教科書の購入につきましては、文部科学省より、令和7年1月24日付けで、令和7年度使用教科書の定価認可について公示され、これをもって購入手続きを行います。教師用教科書1,290冊、指導書1,201冊の購入金額が6,204万5,550円となるため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の第3条に規定される、予定価格2,000万円以上の動産の買入れに当たり、議会承認が必要となることから、3月定例議会に議案提出をさせていただいております。

なお、3月定例議会におきまして承認された後、購入業者より4月4日までに各学校に物品が納入される予定となっております。

報告は以上となります。よろしくお願いたします。

教 育 長 それでは、この件につきましてご意見、ご質問はございませんでしょうか。

梅 田 委 員 4年に1度の採択替えに伴って、このような形で教科書、そして教師用の指導書も購入が必要になります。現在、デジタル教科書の動きが非常に急速に進んでいるところでもあり、採択の段階においても、子どもたちが使うデジタル教科書の効果や、単元による活用状況等々についても議論の必要があるという意見が出ていたかと思えます。

今回、教師用の指導書の中でも、特にデジタル教科書の方の指導書について、1件当たりの単価が高額であることが非常に目に留まります。これだけのものが改訂の度に必要になるということは、実際に教育を進める上では受け止めていかなければなりません。これからデジタル教科書を扱う教科が増えていく方向性にあることを考えると、必要最低限の冊数を準備しているということは理解しますが、学校現場においてそれらをより効果的に活用していくということについては、これからのことも考えてしっかりとした活用に努めていく必要があると思っております。今後のことも考え、活用状況等をしっかりと把握するとともに、あるものについての効果的な子どもたちへの活用についても、より取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いたします。

教 育 長 ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

柳 澤 委 員 学校現場にこのような形で配付されるということがあって、教育委員会内部の指導主事への、デジタル教科書の扱いについてのサポートは大丈夫なのか。つまり、指導主事のレベルで、教育委員会事務局の中で、こういったデジタル化に移行する中での対応は、どのように考えたらよいのでしょうか。

教 育 長 学校教育課長、どうですか。

学校教育課長

今おっしゃっていただいているような部分については、現在デジタル教科書を各学校に導入している部分もあり、教育 DX 推進課と学校教育課の方で連携もしながら、学校の実際の活用の状況や成果・課題を学校訪問する中で拾い上げ、どういうふうにしていったらよいのかという議論を進めております。今後もその取組については継続していきたいと考えております。

以上でございます。

柳澤委員

関連して追加ということですね。分かりました。

教育長

よろしいでしょうか。

中教審でも議論されて、今後は紙とデジタルを同等に扱うという方向性が示されています。両委員のおっしゃったように、それまでに教育委員会もしっかり把握して、教育委員会でも十分議論があるだろうと思います。併用して扱う方向性で議論が進んでいるので、そこを市として、併用するのか、いろいろな議論が出てくるだろうと思います。しっかり準備をして教育委員の皆様にも議論いただけるようにしたいと思います。採択の時期は決まっていますので、早く議論を始める必要があると思います。併せて、他市の動向もしっかり踏まえて国の方向性もしっかり見ていただけたらと思います。

それでは、ご意見がないようですので教育長報告（１）「財産の取得について」は、了承いたします。

次に、教育長報告（２）「奈良市学校図書館ガイドラインの改訂について」、学校教育課長より説明願います。

学校教育課長

奈良市学校図書館ガイドラインにつきましては、現行のものが策定された平成 30 年度以降、子どもの読書活動等に関わる ICT 環境の整備が進んだことや、奈良市子ども読書活動推進計画が改定されましたことなどを踏まえ、この度改訂をいたしました。お手元の資料につきましては、1 ページから 7 ページが改訂後の奈良市学校図書館ガイドラインとなります。

それでは、改訂に伴う主な変更点をご説明申し上げます。今回の改訂では、主に次の 3 点の変更を行っております。まず 1 点目といたしましては、1 ページに示すとおり、ガイドラインの構成の中に「ICT 機器の活用」という項目を新たに設けました。次に 2 点目といたしましても、同じく 1 ページに示しておりますように、「その他（留意事項）」の項目を新たに設けました。3 点目といたしましては、既に現行のガイドラインに記載されている内容につきまして、その内容を補足するために記載を改めたり追記したりすることをしております。

それでは、以上 3 点につきましてご説明申し上げます。1 点目といたしまして、新たな項目として設けた「ICT 機器の活用」についてです。

資料5ページをご覧ください。学校におけるICT環境の整備が進んだことから、これらを活用しながら学校図書館の運営や、子どもの読書活動のさらなる充実を図るため、項目を追記いたしました。ICT機器の活用として、奈良市独自に開発した読書アプリ「奈良市 読書の記録」の活用推進を図ること、書誌情報を電子データとして管理すること、可能な限り蔵書状況をオンライン上で閲覧できるようにすること、学校図書館において一人1台端末を活用した学習ができるよう館内の配置の工夫を行うことの4つの内容を記載しております。

続いて2点目といたしまして、「その他（留意事項）」についてでございます。資料の6ページ、7ページをご覧ください。まず、図書館環境につきまして、居場所としての図書館や学習センターなど、多様な学習活動への活用を目指した図書館となるよう、環境の整備や充実に関わり留意すべき点を記載いたしました。また、学校図書館運営に関わる著作権につきまして、図書館だよりやホームページにて図書館資料を利用する際や、お話の会や読み聞かせを実施する際、また、図書委員会において児童生徒が活動する際に、著作権の観点から留意する必要がある内容について記載しております。

最後に3点目は、現行のガイドラインに記載していた項目ではございますが、教育委員の皆様からのご意見も頂戴しながら、いくつか内容を補足するため記載を改めたということになります。資料の3ページをご覧ください。「4 学校図書館に携わる教職員及び市立図書館との連携」の項目の中で、(8)として、地域のボランティアの方々等の協力に関わる内容について記載をさせていただきました。続いて、4ページ、5ページをご覧ください。「5 学校図書館における図書館資料」の項目の中で、4ページの図書館資料の選定基準及び5ページの図書館資料の廃棄基準につきまして、それぞれを定める際の参考となる基準を記載させていただきました。また、6ページの「8 学校図書館の評価」の項目の中で、具体的な評価項目の例として、アウトプット・アウトカムの観点からの評価項目例を具体的に追記させていただいております。

大きな変更点は以上となりますが、ガイドライン全体に関わって、より現状に即した内容とすることや、分かりやすいレイアウトとなるようにするために一部表現を改めながら改訂をしております。

説明は以上です。よろしくお願いたします。

教 育 長

それでは今説明のあったこの件について、ご意見、ご質問等よろしくお願いたします。

川 村 委 員

メールで事前に質問させていただいたことを、先ほど課長から回答いただいたのですが、委員からの質問に対する「モデル校に学校司書を配置し、効果検証することを全体に周知すべきではない」という回答に少

し疑問を抱いたものですから、確認をさせていただきました。年度初めの校長会や教職員研修などの機会に全体に周知してくださるということですので、丁寧に周知していただいて、しっかり司書を配置した状態で学校図書館の運営を進めていけるように環境を整えていただきたいと思います。

また、2つ目の質問で、廃棄の基準を奈良市全体で一律で決めていただきたいと問い合わせさせていただきました。現状としては、今回、教育DX推進課も連名という形でガイドラインを作っていただいていますし、奈良市の学校図書館の蔵書をしっかり学校教育課が把握していただいて、入れて10年経った図鑑は捨てるとか、傷んだ本は捨てるとか、そういったものを奈良市全体で整えることについても、これからは現状に沿ったガイドラインを定期的に精査していくという回答もいただきましたので、期待させていただきます。

また、図書ボランティアとの連携の明文化もしていただいて、ありがとうございます。励みになります。今後ともよろしく願います。

教 育 長

ありがとうございます。その他、ございませんか。

柳 澤 委 員

6ページに「8 学校図書館の評価」という項目があって、手法がどうかはともかく、学校評価は既に行う形になっていますが、今回、アウトプット・アウトカムという言い方でストレートに表現されたのは大きな進展だと思いました。実際に学校評価をやるとなると、図書館に関してだけでもかなりボリュームが増えてしまうので、実際に先生方に負担感が増すという危惧を持ちますが、今の段階では、学校の自己評価を中心にやっていただくことになるのだと思っています。

これはガイドラインなので、もうこれ以上ないといえないんですけれども、学校の自己評価という点では、例えば(3)で蔵書冊数等のことが書いてありますが、評価の視点などをもう少し例示的に書いていただくとよいかと思います。それぞれの学校での取組には、デコボコといえますか、忙しすぎてできないということも含めて差があるので、奈良市全体の学校図書館の活動評価までをすることはないとは思いますが、やっぱりそれぞれの学校で本年度はどこを改善できたかということが分かるような形で取り組んでいただくとよいかと思います。

もう少し具体的に言うと、この学校図書館の評価は、例えば何年おきにされるという想定で書いておられるのかよく分かりません。ガイドラインを策定した平成30年度以降、学校で実際に始めてみて、毎年やるのは大変なので例えば3年とか5年とか少し長めのスパンで、複数年度に渡ってどのように変わっていったのかが分かるとうよいかと思いました。これはガイドラインより踏み込んだ話なのでここには入ってこないとは思いますが、よろしく願います。

教 育 長 ほかにはいかがですか。

梅 田 委 員 川村委員からお話があったガイドラインの運用について、各学校にどのように示していくことを予定しているのかということは、私も確認をしておきたいと思っておりました。先ほどお話がありましたので、その辺りをしっかり周知をしていただいた上で、このガイドラインの中には教育委員会事務局として準備を整えることが必要な事項もたくさん入っているかと思しますので、そこの計画的な動きにつながることを期待したいと思います。それがまず1点です。

もう1点は、今、ご意見があった学校評価との兼ね合いですけれども、学校図書館の評価について、学校自己評価の項目がしっかり示されているということ。これは、判断は各校長がするのだとは思いますが、校長が判断するものだからなかなか踏み込めない、ではなく、やはりガイドラインに示してあるということを受けて、しっかり自己評価項目として示すように伝えていただきながら、そのことが実際に学校の中での営みとして動きを持つことができるように、つながりを持って動いていてもらいたいと思います。その際の自己評価項目の中での評価の観点の中に、今年度のみ短期的な目標として見るところと、学校としてすぐには変わらないけども、数年の間にここまで目指していきたいという中期的な目標をしっかりと示すことによって、学校内での動きをより活性化していくということにつながっていけばと期待いたします。

いずれにしましても、それぞれの学校の現状、地域の状況によって、取り組み状況や整っている状況に違いがあると思いますので、しっかりと全体の底上げを図ることができるように動いていただけるよう、ぜひお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

教 育 長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

このガイドラインに基づいて、柳澤委員や梅田委員から具体的にご指摘のあったことも含め、スケジュール感を持って運用しなければなりません。学校任せになってしまうとそれが進まないと思います。

事務局でも議論のあった、例えば、学校図書館の図書の廃棄の基準をどう扱うのかということは、本当に実情に合わせてではありますが、20年も前の図鑑が学校に置いてあるということについて、数があればよいのか、数より質なのか。しかし学校図書館図書標準を満たさなければならぬということもあります。今、モデル校においては、現場の声を聞きながら専門家にも関わっていただき、また、地域の人にも協力して入っていただける形で実際に進んでいます。それを一部のモデル校だけでなく、全ての学校に広げる取組を一步ずつしていかないと、学校の教員だけでは実現できないことなので、時間をかけて検討したこのガイドラインをしっかりと運用していかなければなりません。よろしく申し上げます。

それでは、ご意見がないようですので、教育長報告（２）「奈良市学校図書館ガイドラインの改訂について」は了承いたします。

それでは次に、議案第 40 号「奈良市指定文化財の指定について」、文化財課長からお願いします。

文化財課長

資料 1 ページにあります、2 月 17 日付け審議会の会長名で、答申がございました。1 月の教育委員会におきまして、諮問することについてお諮りした 2 件について、奈良市指定文化財に指定することが適当と認めるとい内容の答申をいただきましたので、この 2 件について指定しようとするものでございます。

1 件は絵画で、絹本著色阿弥陀如来像 1 幅、極楽寺所蔵で、奈良国立博物館に寄託されているものでございます。もう 1 件が彫刻で、木心乾漆菩薩立像残欠 1 箇で、徳融寺所蔵でございます。内容の詳細につきましては、資料の 3 ページから 8 ページまでに載せております。9 ページに 2 件の概要について載せておりますが、以前の教育委員会におきましてご説明させていただきましたので、今回はこの資料をもって省略させていただきます。

指定については以上でございます。よろしく申し上げます。

教 育 長

それではこの件について、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それではこの件につきまして、ご意見が特にありませんので、議案第 40 号「奈良市指定文化財の指定について」、採決をいたします。本案を原案どおり可決することに決しまして、ご異議ございませんか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。よって、議案第 40 号は原案どおり可決することに決定をいたしました。

次に議案第 41 号、「奈良市指定文化財の指定解除について」、文化財課長よりお願いします。

文化財課長

これにつきまして 2 月 17 日付けの会長名で、指定解除についての答申をいただきました。1 月の教育委員会において諮問させていただきました件について、奈良市指定文化財の指定を解除することが適当と認めると答申をいただいております。

解除する物件ですけれども、資料 2 ページにあります、天然記念物、月ヶ瀬桃香野奥ノ谷のウメの古木でございます。この木は枯死していることが確認されたために、今回、指定を解除しようとするものでございます。指定解除に伴い現在予定しておりますのは、伐採して、その後切

り株などを梅の資料館などで展示しようとして計画しているところでございます。

なお、そのウメのありました跡地につきまして、月ヶ瀬梅溪保勝会等では、どこかの古木を持ってこられないかということで、現在探して検討している最中です。もしよいものがあれば、またそこに植え直すことも考えているところでございます。

指定解除につきましては、以上でございます。よろしく申し上げます。

教 育 長

この件に関しまして、ご意見、ご質問はございませんか。

それではご意見がないようですので、議案第 41 号「奈良市指定文化財の指定解除につきまして」、採決をいたします。本案を原案どおり可決することに決しまして、ご異議ございませんか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。よって議案第 41 号は原案どおり可決することに決定いたしました。

これで、非公開を除く案件の審議が終了しました。

非公開案件

この審議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び奈良市教育委員会会議規則第5条の2の規定により非公開とする。

子ども政策課長補佐

教育長報告（3）「市立幼稚園の再編方針について」、子ども政策課長補佐より概要説明。

本件については、了承した。

教 育 長

これで本日の全ての案件は終了いたしました。そのほかに何かご意見、ご連絡はございませんでしょうか。

それでは、これもちまして本日の教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。